

写真 活真 力II

コロナ禍におけるフジフィルムスクエアの思い・行動、
そして来館者に教えられたこと

2020年度活動トピックス

「こころ彩るところ」
フジフィルム スクエア 2021



2020年度活動トピックス

「FUJIFILM SQUARE(フジフィルム スクエア)」は創業以来、写真文化の発展に貢献してきた富士フィルムが、写真が持つ価値を伝える活動の一環として2007年に開館した複合型ショールームです。

コロナ禍の中、来館者、出展者とスタッフの安心と安全確保を最優先して運営

新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、世界が未曾有の危機に直面した2020年。フジフィルム スクエアは、来館者、出展者とスタッフの安全を確保することを最優先とし、2月28日から6月8日まで臨時休館しました。再開にあたっては、安心安全な環境を作ることを第一に考え、イベントを中止する等の対策を講じました。

どんな時も写真が心を彩ることを実感

そのような手探りの状況の中、2020年度は75本の写真展を開催し、約22万人の方にご来館いただきました。安心して写真を鑑賞できる環境づくりにご協力いただきました出展者の皆様、来館者の皆様に深く感謝申し上げます。また、来館者から「コロナ禍の中でも写真展を開催してくれてありがとう」「こんな時だからこそ写真展から得られる感動が大きい」というお言葉をいただき、どんな時も写真がお客様の心を彩ることを実感いたしました。

Webを活用した新しい試み:Web上で「動画」、「インタビュー記事」を公開

また、はじめて試みた動画は14本をフジフィルム スクエア ウェブサイトで公開し、総再生回数は合計21,157回を数えました。ウェブサイトにはインタビュー記事も合計で8本公開しました。ギャラリートークや講演会で直接出展者と出会う場とは異なりますが、Web上でいつでもどこでも写真家や写真についての理解を深められる場となりました。※2021年3月31日現在。広告配信による再生は含まない。

11人の若手写真家の写真展開催を応援、 そのうちの一人 大竹英洋氏が第40回土門拳賞を受賞!

フジフィルム スクエアでは2013年から、プリントなどの制作費を支援して個展開催の機会を提供する若手写真家応援プロジェクト「写真家たちの新しい物語(公募個展)」を実施しており、2020年度は7本の写真展を開催。また、2019年の企画写真展「平成・東京・スナップLOVE」の併設イベントとして開催したポートフォリオレビュー(作品講習会)で選出された4名をサポートした個展も実施しました。そのうち「写真家たちの新しい物語」として写真展「ノースウッズ-生命を与える大地-」を開催した大竹英洋氏が、本展を機に出版された同名の写真集を対象に第40回土門拳賞(主催 毎日新聞社)を受賞されました。

フジフィルム スクエアの写真展会場で生まれる出会いや感動で、お客様の心が鮮やかに彩られ、その体験が色褪せずに記憶に残ること。Web上で写真家や写真について学ぶこと。フジフィルム スクエアはコロナ禍の2020年、このような体験ができる「こころ彩るところ」を目指し、活動してきました。

この『2020年度活動トピックス』では、フジフィルム スクエアで2020年度に実施した活動をダイジェストでご紹介いたします。フジフィルム スクエアの写真を通じた「こころ彩る」活動をご理解いただく機会となれば幸いです。

フジフィルム スクエア施設コンセプト



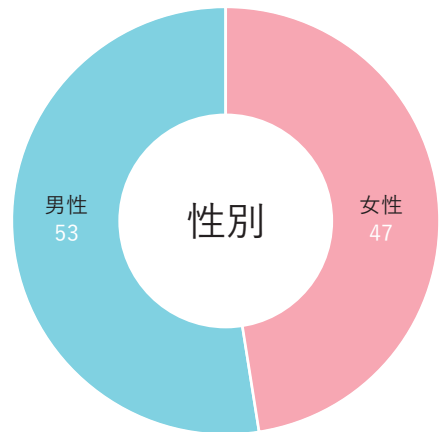
・本データは2020年度の自社調査に基づくものです。
 ・2020年度とは2020年4月1日から2021年3月31日を指します。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から臨時休館した2020年2月28日から6月8日までのうち4月1日からの69日間および年末年始を除いた290日が2020年度の写真展開催期間です。

来館者数 臨時休館日69日および年末年始を除く
稼働日数290日の来館者

220,362人

1日平均
760人

来館者属性



写真展の開催回数

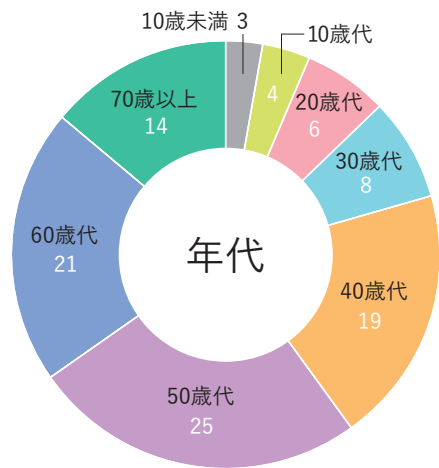
75本



■ 当社が主催する企画展 38本

若手写真家から作品を募集し、作品発表の機会を提供する企画展「写真家たちの新しい物語」7本、歴史的に価値の高い作品を展示する写真歴史博物館の企画写真展3本、その他共催写真展3本を含む。

■ 公募展 37本



※自社アンケート調査による。(回答人数3,704人、グラフの単位は%)



Web公開動画

フジフィルム スクエア ウェブサイトで公開した動画本数。

14本



総再生回数

21,157回

※2021年3月31日現在。
広告による再生は含まない。

Web公開インタビュー記事

フジフィルム スクエア ウェブサイトで公開した特別ゲストへのインタビュー記事本数。

8本



コロナ禍におけるフジフィルム スクエアの思い・行動、そして来館者に教えられたこと



マスクとフェイスシールドを着用して感染症対策を徹底するコンシェルジュ



中学生動物写真家 藍沙氏(写真左)出演のギャラリートークムービー撮影風景

来館者と出展者、 スタッフの安心と安全を最優先

新型コロナウイルス感染症という未知の脅威に遭遇し、フジフィルム スクエアは、来館者と出展者、スタッフの安心と安全を最優先するという考えのもと、2月28日から6月8日まで臨時休館しました。休館中も、皆様から励ましや、開館を望む声が多数寄せられました。そして、万全の感染対策を講じ開館すると、来館者から「写真展のおかげで心が満たされた」といった喜びの声を多くいただき、改めて写真の「人々を励ます力」を実感しました。「こころ彩られる」体験は人の活力になる。コロナ禍でもフジフィルムスクエアで「こころ彩る」体験をご提供したい。そんな思いのもと、運営を続けました。

来館者の声

「写真展を開催してくれてありがとう」

来館者からは「写真展を見るために久しぶりの外出をした。感動した」「コロナで旅に行くこともままならないが、写真を見て旅をしたような気分になった」等、たくさんの「こころ彩られた」ご感想をいただきました。



大竹英洋写真展「ノースウッズ-生命を与える大地-」
感染防止のためマスクを着用しソーシャルディスタンスを保ちながら作品の説明をする大竹氏(写真右)

出展者の声

「このような中で、感動した、
と来館者に言っていた。開催して良かった」

出展者の皆様にとってはコロナ禍の中、スケジュールを延期しての開催となったり、開催をどこまで告知すればよいか悩んだりする中で写真展となりましたが、写真展を開催した感想としては、「お客様の笑顔が多く、嬉しい」「明るく楽しい写真展になった」等の声が寄せられました。

Web上で写真家や写真について学べる Web動画を14本公開、総再生回数21,157回

出展者が展示会場で作品解説を行うギャラリートークや講演会は、年間1万人を超える方にご参加いただいていたのですが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から実施を見送りました。その代替手段として動画を制作し、フジフィルム スクエア ウェブサイトで公開しました。出展者の写真にける思いや撮影意図についてお伺いするインタビュー動画や、写真展のテーマについてわかりやすく解説する動画を合計14本を公開、合計21,157回*再生されました。視聴者からは「動画がわかりやすいガイドになり、展示がより楽しめる」「手軽に楽しめる」等の反響がありました。

*2021年3月31日現在。広告配信による再生は含まない。



ハッブル宇宙望遠鏡 宇宙の神秘を紐解く30年
本展監修の国立天文台副台長 渡部潤一氏に、ハッブル宇宙望遠鏡の30年間にわたる天文学上の功績についてお話をいただく動画。



大竹英洋写真展「ノースウッズ-生命を与える大地-」
ノースウッズとはどこどこ?ノースウッズを撮影したきっかけは?等、大竹氏の20年間の取材の一端に触れ、大竹作品の魅力の秘密に迫るギャラリートークムービー。



鵜川 真由子写真展「LAUNDROMAT」
旅で偶然出会った人との時間を大切にしている鵜川氏は、なぜLAUNDROMAT(コインランドリー)を撮影場所に選んだのか?鵜川作品の魅力の秘密がわかるインタビュー動画。



「海から見たニッポン」(1)「海流が育むいのち」~黒潮の力、親潮の恵み~阿部秀樹・鍵井晴章・佐藤 輝・関 勝剛・高久 至
本展出展の5人の水中写真家と監修者 工藤孝浩氏(日本魚類学会)に、海の環境と生きものたちについてお話をいただく合計6本の動画。

「こころ彩るところ」

フジフィルム スクエアは、
時代の変化に適した形で、
写真文化を未来へと
絶えず、守り育み続けます。

新型コロナウイルス感染症の影響で社会や生活環境は大きく変化しており、フジフィルム スクエアも新しい生活様式に適した形での「こころ彩るところ」の姿を模索しています。一方、人間の喜びも悲しみも愛も感動も全てを表現する写真は、人間にとって無くてはならないものであり、当社が長年のお客様のご愛顧にお応えするためにも、写真文化の継承と発展を使命とすることには変わりはありません。

従来フジフィルム スクエアが追求してきた「フジフィルム スクエアにご来館いただいでリアルな写真に触れていただく場の提供」に加え、「Web動画公開など、場所も時間も選ばず、写真家や写真に対する理解を深めていただく場の提供」についても磨きをかけ、それぞれの特徴を生かした運営にチャレンジします。そして、これからは出展者の皆様、鑑賞者の皆様と共にプリントだからこそ伝わる真の写真の価値を共有し、フジフィルム スクエアの活動などを通じ、写真文化を守り育み続けます。



富士フィルムフォトサロン 東京

写真文化の向上と写真の普及に寄与する、クオリティの高いさまざまなジャンルの写真を展示する写真ギャラリーです。プロ・アマを問わず写真の魅力、素晴らしさを表現した作品を厳選し、一週間単位で写真展を開催しております。公募についてはウェブサイトをご覧ください。



写真歴史博物館

貴重なアンティークカメラや富士フィルムの歴代カメラの展示に加え、歴史的に価値のある写真を展示する企画展も定期的に開催しています。写真の文化、カメラの歴史的進化をご覧いただける博物館です。170年を超える写真文化の変遷をぜひお楽しみください。



タッチ フジフィルム

「チェキ」をはじめとする大人気 instax シリーズや富士フィルムのミラーレスデジタルカメラ「GFX・Xシリーズ」、交換レンズなどの最新製品を展示しています。また、スマートフォンからも簡単にご注文いただけるプリントやフォトブックバリエーション、写真をもっと気軽に飾っていただくための「WALL DECOR」、写真を使ったオリジナルギフト「PHOTO GOODS」等を展示し、新しい写真の楽しみ方をご提案しています。



ASTALIFT ROPPONGI フジフィルム ヘルスケアショップ

「アスタリフト」をはじめ、長年の写真分野の研究開発で培った独自の技術を活用した富士フィルムの化粧品・サプリメント・ヘアケア製品を全商品取りそろえています。化粧品やドリンクをお試しいただき、ビューティーコンサルタントのアドバイスを受けることもできます。当店限定のお得なキャンペーンなども実施しています。



FUJIFILM SQUARE

フジフィルム スクエア

開館時間 10:00～19:00 (入館は18:50まで)
無休(年末年始を除く) / 入館無料

※やむを得ず臨時休館の場合がございます。ウェブサイト・電話でご確認ください。

〒107-0052 東京都港区赤坂9-7-3 東京ミッドタウン・ウェスト 1F
TEL.03-6271-3350(10:00～18:00) <https://fujifilmsquare.jp/>

都営大江戸線「六本木駅」8番出口と直結
東京メトロ日比谷線「六本木駅」東京ミッドタウン行き地下通路で徒歩4分
東京メトロ千代田線「乃木坂駅」3番出口より徒歩5分

鑑賞ガイド

右記の二次元コードから写真展がより楽しめる鑑賞ガイドをご覧いただけます。

